

【プラスチック代替素材を活用した開発・普及プロジェクト 公募型共同研究成果】
天然素材と生分解性プラスチックを用いた
リユース可能な食品容器の開発

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター(都産技研)では、プラスチック代替素材を活用した製品開発に関する公募型共同研究を実施しています。本事業で採択された**(株)環境経営総合研究所**、並びに、**菱華産業(株)**との共同研究により、紙パウダーや木粉などの天然素材と生分解性プラスチックを組み合わせることで、繰り返し使用可能な食品容器を開発しました。

■概要

プラスチック製海洋ゴミの生態系への影響等が社会問題となっています。都産技研では公募型共同研究として**石油由来のプラスチックを使用せず、天然素材(紙、木など)と生分解性プラスチックを用いた**食品容器を開発し、エコプロ2021などの各展示会にて一般公開します。

■開発内容



(株)環境経営総合研究所
紙パウダーを活用した食品容器

紙パウダーと樹脂を混練した複合材料「生分解MAPKA」を開発しました。リユースが可能なタンブラーと酒器を製品として出展します。紙パウダー含有の生分解MAPKAは、ブロー成形※3も可能で、PBSやPLAより生分解性も優れています。

※1 PBS…ポリブチレンサクシネート ※2 PLA…ポリ乳酸 ※3 ブロー成形…プラスチックの加工法の一つ。素材に空気を吹き込み容器を成形する手法。



菱華産業(株)
産業廃材の木粉を活用した食品容器

野球バットの製造で発生する産業廃材をアップサイクルした木粉とPBSとの複合材料を開発しました。これを使用したカップ、ボウル、ディッシュなどの開発品を出展します。木粉への特殊熱処理により、成形時の流動性向上に成功、高精度の成形を実現しました。

(株)環境経営総合研究所、菱華産業(株)
エコプロ2021[第23回]へ
出展

日時	2021年12月8日(水)～12月10日(金) 10:00～17:00
会場	東京ビッグサイト 東2～3ホール
参加費	無料(登録制)

(株)環境経営総合研究所
COP26 ヴァーチャル・ジャパン・パビリオンへ出展

開催期間	2021年10月31日(日)～11月12日(金)
詳細情報	http://copjapan.env.go.jp/cop/cop26/

菱華産業(株)
第1回 サステナブルマテリアル展へ出展

開催期間	2021年12月8日(水)～12月10日(金)
詳細情報	https://www.susma.jp/ja-jp.html

【お問い合わせ】 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

製品化技術グループ 青沼 昌幸 TEL 03-5530-2150 FAX 03-5530-2629
 企画部経営企画室 竹内由美子 TEL 03-5530-2521 FAX 03-5530-2536

<https://www.iri-tokyo.jp/>